

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ミダフレッサ静注 0.1%	市販直後調査 平成 26 年 12 月～平成 27 年 6 月
(英名)	MIDAFRESA Injection 0.1%	
(規格・含有量)	1 バイアル(10 mL)中、ミダゾラム 10 mg を含有	
(一般名)	ミダゾラム	
(メーカー名)	アルフレッサ ファーマ株式会社	
【薬価収載日】	2014 年 11 月	
【薬価】	1 バイアル:3340 円	
【薬効コード】	871139	
【薬効分類名】	抗けいれん剤	
効能・効果	てんかん重積状態	
用法・用量	①静脈内投与 通常、修正在胎45週以上(在胎週数+出生後週数)の小児には、ミダゾラムとして0.15mg/kgを静脈内投与する。投与速度は1mg/分を目安とすること。なお、必要に応じて1回につき0.1～0.3mg/kgの範囲で追加投与するが、初回投与と追加投与の総量として0.6mg/kgを超えないこと。 ②持続静脈内投与 通常、修正在胎45週以上(在胎週数+出生後週数)の小児には、ミダゾラムとして0.1mg/kg/時より持続静脈内投与を開始し、必要に応じて0.05～0.1mg/kg/時ずつ増量する。最大投与量は0.4mg/kg/時までとすること。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②急性狭隅角緑内障のある患者[眼圧を上昇させるおそれがある。] ③重症筋無力症のある患者[重症筋無力症の症状を悪化させるおそれがある。] ④HIV プロテアーゼ阻害剤(リトナビルを含有する製剤、サキナビル、インジナビル、ネルフィナビル、ダルナビル、アタザナビル、ホスアンブレナビル)、エファビレンツ及びコビスタットを含有する製剤を投与中の患者(「相互作用」の項参照) ⑤ショックの患者、昏睡の患者、バイタルサインの抑制がみられる急性アルコール中毒の患者	
相互作用	本剤作用増強 中枢神経抑制剤(フェノチアジン誘導体、バルビツール酸誘導体、麻薬性鎮痛剤等)、モノアミン酸化酵素阻害剤、アルコール(飲酒)、CYP3A4 を阻害する薬剤(カルシウム拮抗剤、アゾール系抗真菌剤、シメチジン、エリスロマイシン、クラリスロマイシン、テリスロマイシン、キヌプリスチン・ダルホプリスチン等)、プロポフォール 本剤他剤作用増強 カルバマゼピン、クロバザム、トピラマート等 本剤作用減弱 CYP3A4 を誘導する薬剤(リファンピシン、カルバマゼピン、フェニトイン、フェノバルビタール等) 本剤副作用増強 HIV プロテアーゼ阻害剤(リトナビルを含有する製剤、サキナビル、インジナビル、ネルフィナビル、ダルナビル、アタザナビル、ホスアンブレナビル)、エファビレンツ、コビスタットを含有する製剤 他剤副作用増強 抗悪性腫瘍剤(ビノレルビン酒石酸塩、パクリタキセル等)	
副作用	重大な副作用 呼吸抑制、無呼吸、舌根沈下、心停止、心室頻拍、心室性頻脈、ショック、アナフィラキシー、悪性症候群(Syndrome malin)、依存性 その他 発熱、発疹、AST(GOT)上昇 等	

(薬品名)	ソバルディ錠 400 mg	市販直後調査 平成 27 年 5 月～平成 27 年 11 月
(英名)	SOVALDI Tablets 400 mg	
(規格・含有量)	1 錠中、ソホスブビル 400 mgを含有	
(一般名)	ソホスブビル	
(メーカー名)	ギリアド・サイエンシズ株式会社	
【薬価収載日】	2015 年 5 月	
【薬価】	1 錠:61799.3 円	
【薬効コード】	87625	
【薬効分類名】	抗ウイルス剤	
効能・効果	セログループ 2(ジェノタイプ 2)の C 型慢性肝炎又は C 型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善	
用法・用量	リバビリンとの併用において、通常、成人にはソホスブビルとして400mgを1日1回、12週間経口投与する。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②重度の腎機能障害 (eGFR<30mL/分/1.73m ²)又は透析を必要とする腎不全の患者(【薬物動態】の項参照) ③次の薬剤を投与中の患者:カルバマゼピン、フェニトイン、リファンピシン、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品(「相互作用」の項参照)	
相互作用	本剤作用減弱 リファンピシン、カルバマゼピン、フェニトイン、リファブチン、フェノバルビタール、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品	
副作用	重大な副作用 貧血 その他 頭痛、ヘモグロビン減少、倦怠感、悪心、そう痒症 等	

削除医薬品通知

●7月1日より		
エルカルチン錠 100 mg		7/1 削除
ジゴシンエリキシル 0.05 mg/mL 100mL		7/1 削除
インヒベース錠 1mg		7/1 削除
チラーヂン末		7/1 削除

医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
●7月1日より	
リルゾール錠 50 mg「AA」	リルテック錠 50 mg
ビデュリオン皮下注用 2 mg ペン	ビデュリオン皮下注用 2 mg

医薬品規格追加通知

今回採用医薬品
●7月1日より
ミルセラ注シリンジ 250 µg

適応追加通知

エムラクリーム

【効能・効果】

1. 皮膚レーザー照射療法時の疼痛緩和
2. 注射針・静脈留置針穿刺時の疼痛緩和

【用法・用量】

<成人>

通常、成人には、レーザー照射予定部位又は注射針・静脈留置針穿刺予定部位に10cm²あたり本剤1gを、密封法(ODT)により60分間塗布する。なお、1回あたりの塗布量は10gまでとし、塗布時間は120分を超えないこと。

<小児>

通常、小児等には、レーザー照射予定部位又は注射針・静脈留置針穿刺予定部位に10cm²あたり本剤1gを、密封法(ODT)により60分間塗布する。なお、1回あたりの塗布量及び塗布時間は下表を超えないこと。

年齢(月齢)	体重	最大塗布量	最大塗布時間
0～2ヶ月	—	1g	60分
3～11ヶ月	5kg以下	1g	60分
	5kg超	2g	60分
1～14歳	5kg以下	1g	60分
	5kg超 10kg以下	2g	120分
	10kg超	10g	120分

プレドニゾン散 1%

【効能・効果】(該当部のみ記載)

悪性リンパ腫(リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉腫)及び類似疾患(近縁疾患)、多発性骨髄腫、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移

【用法・用量】(該当部のみ記載)

通常、成人にはプレドニゾンとして1日5～60mg(錠剤の場合1～12錠、散の場合0.5～6g)を1～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、悪性リンパ腫に用いる場合、抗悪性腫瘍剤との併用において、1日量として100mg(体表面積)まで投与できる。

プレドニン錠 5mg

【効能・効果】(該当部のみ記載)

1. 内科・小児科領域

(16) **悪性腫瘍:悪性リンパ腫(リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉腫)及び類似疾患(近縁疾患)、多発性骨髄腫、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移**

【用法・用量】(該当部のみ記載)

通常、成人にはプレドニゾンとして1日5～60mgを1～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、悪性リンパ腫に用いる場合、抗悪性腫瘍剤との併用において、1日量として100mg/m²(体表面積)まで投与できる。

リバロ OD 錠 2mg

【効能・効果】

1. 高コレステロール血症

2. 家族性高コレステロール血症

【用法・用量】(該当部のみ記載)

2. 家族性高コレステロール血症

成人:通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして1～2mgを1日1回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日4mgまでとする。

	<p>小児:通常、10歳以上の小児にはピタバスタチンカルシウムとして1mgを1日1回経口投与する。</p> <p>なお、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日2mgまでとする。</p>
<p>アイリーア硝子体内注射液 40 mg/mL</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性 網膜中心静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫 病的近視における脈絡膜新生血管 糖尿病黄斑浮腫</p> <p>【用法・用量】(該当部のみ記載)</p> <p>網膜中心静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、病的近視における脈絡膜新生血管 アフリベルセプト(遺伝子組換え)として1回あたり2mg(0.05mL)を硝子体内投与する。投与間隔は、1ヵ月以上あけること。</p>
<p>ゾシン静注用 4.5</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>1.一般感染症(詳細略)</p> <p>2.発熱性好中球減少症</p> <p>【用法・用量】(該当部のみ記載)</p> <p>2.発熱性好中球減少症</p> <p>通常、成人にはタゾバクタム・ピペラシリンとして、1回4.5g(力価)を1日4回点滴静注する。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。</p> <p>通常、小児には1回90mg(力価)/kgを1日4回点滴静注する。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。ただし、1回投与量の上限は成人における1回4.5g(力価)を超えないものとする。</p>
<p>注射用エンドキサン 100 mg 注射用エンドキサン 500 mg</p>	<p>【効能・効果】(該当部のみ記載)</p> <p>1. 下記疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解</p> <p>多発性骨髄腫、悪性リンパ腫(ホジキン病、リンパ肉腫、細網肉腫)、肺癌、乳癌、急性白血病、真性多血症、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌、神経腫瘍(神経芽腫、網膜芽腫)、骨腫瘍</p> <p>ただし、下記の疾患については、他の抗悪性腫瘍剤と併用することが必要である。</p> <p>慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、咽頭癌、胃癌、膵癌、肝癌、結腸癌、辜丸腫瘍、絨毛性疾患(絨毛癌、破壊胞状奇胎、胞状奇胎)、横紋筋肉腫、悪性黒色腫</p> <p>【用法・用量】(該当部のみ記載)</p> <p>1. 自覚的並びに他覚的症状の緩解</p> <p>(1) 単独で使用する場合(略)</p> <p>(2) 他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合</p> <p>単独で使用する場合に準、適宜減量する。</p> <p>悪性リンパ腫に用いる場合、通常、成人にはシクロホスファミド(無水物換算)として1日1回750mg/m²(体表面積)を間欠的に静脈内投与する。</p> <p>なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ラジカット点滴静注バッグ 30 mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>1. 脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善</p> <p>2. 筋萎縮性側索硬化症(ALS)における機能障害の進行抑制</p> <p>【用法・用量】</p> <p>1. 脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善</p> <p>通常、成人に1回1袋(エダラボンとして30mg)を、30分かけて1日朝夕2回の点滴静注を行う。</p> <p>発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内とする。</p> <p>2. 筋萎縮性側索硬化症(ALS)における機能障害の進行抑制</p> <p>通常、成人に1回2袋(エダラボンとして60mg)を、60分かけて1日1回点滴静注を行う。</p> <p>通常、本剤投与期と休薬期を組み合わせた28日間を1クールとし、これを繰り返す。第1クールは14日間連日投与する投与期の後14日間休薬し、第2クール以降は14日間のうち10日間投与する投与期の後14日間休薬する。</p>